

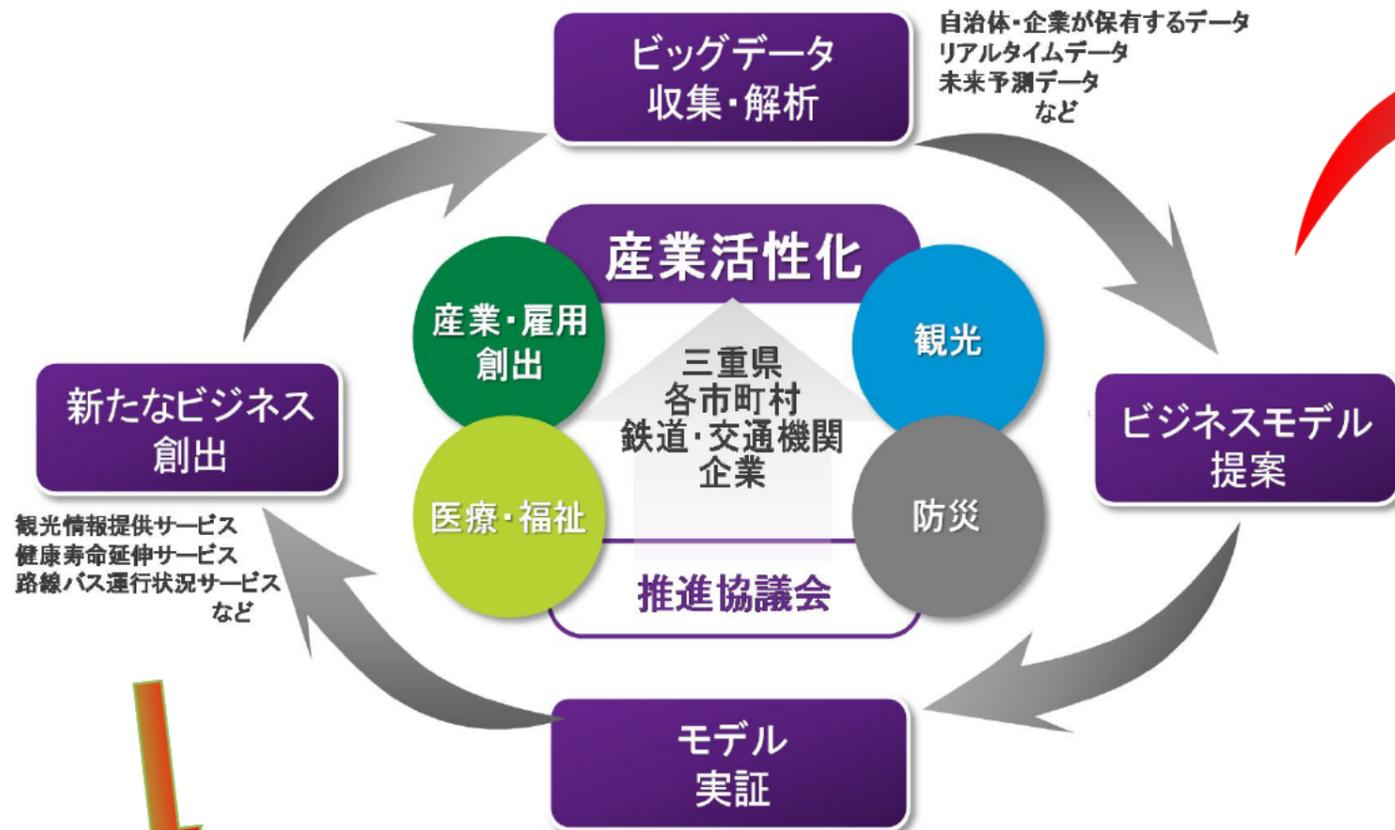
ICTを活用した産業活性化の推進

参考

【目的】産学官の連携により、自治体・住民・観光客等からもたらされる情報（ビッグデータ）、ICT技術を活用して、新たなビジネスモデルの構築を図りながら、住民や観光客の満足度向上や産業振興、地域活性化につなげる。

ICT・ビッグデータを活用した新しいビジネスの可能性

さまざまな企業と三重県および市町がそれぞれの情報を提供すると、その情報の解析から事業戦略を検討し、新たな事業が生まれ、さらに観光、防災、医療福祉などの産業・雇用の創出相乗効果となって活性化が期待されます。



観光情報提供サービス
健康寿命延伸サービス
路線バス運行状況サービス
など



三重県・県内自治体共通プラットフォーム

推進体制

みえICTを活用した産業活性化推進協議会

ICTを活用した新たな産業の創出、ICTの活用による新たなまちづくりについて情報交換及び議論を行う。

会員：企業、大学、団体、地方自治体など
運営委員会：4回/年 ワーキンググループ/随時

【運営委員会】

特別顧問：東京大学大学院情報学環・学際情報学府学環長・学府長 須藤 修 氏
座長：三重大学副学長 西村訓弘 氏
委員：三重大学大学院生物資源学研究科 教授 坂本竜彦 氏
福山市立大学都市経営学部 教授 渡邊 明 氏
メンバー：近畿日本ツーリスト(株)、近畿日本鉄道(株)、(株)ケーブルコモンネット
三重、シスコシステムズ(同)、ソフトバンク株、ソフトバンクテレコム(株)、
(株)東芝、(株)ナビタイムジャパン、西日本電信電話(株)、富士通(株)

WGで検討



観光WG

県内企業を中心としたコラボレーション事業、ビッグデータ、オープンデータ、リアルタイムデータを活用し、観光客動向分析などを行い、新たなビジネスモデルを検討する。

- ・着地型観光促進
- ・導線分析 など



医療WG

県民がより質の高いサービスを受け、健康増進に寄与するための新たなビジネスモデルを検討する。

- ・健康寿命延伸
- ・アクティブシニア創出 など



共通基盤WG

医療福祉、観光、防災、産業育成等を推進するため、三重県のあるべき姿や共通プラットフォームを検討する。

- ・アプリケーション開発
- ・インフラ検討 など

三重県、県内自治体がフィールドを提供し、ビッグデータ、オープンデータ、リアルタイムデータを活用した新たなビジネスモデルを産学官で創出。